

銀行名	四国銀行
タイトル	エコノミクス甲子園高知大会
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 クイズを通じて金融経済の知識の重要性を高校生に知ってもらうために、NPO 法人金融知力普及協会と共催で「第9回エコノミクス甲子園」の地方大会として、エコノミクス甲子園高知大会を初めて開催した。</p> <p>【取組み内容】 金融経済教育の取組みの一環として実施。県内の高校に生徒の参加を要請し、9組18名が参加して、第3回目の高知大会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験（50問） ・早押しクイズ ・決勝ラウンド（人生設計クイズ） <p>【取組みの効果】 クイズ形式で気軽に金融経済の知識に触れ、楽しみながら金融知力を身に付けてもらうことができた。</p>



銀行名	四国銀行
タイトル	<四銀>夏休み子ども教室「お金のセミナー」
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 「お金」の大切さや「お小遣い」の使い方等を学習するとともに、銀行の仕事を一部体験してもらい、「お金と銀行」に関する基本的な知識を身に付ける機会を提供することで、将来の地域社会を担う人材の育成を図るため実施した。</p> <p>【取組み内容】 小学生を対象に、夏休みの1日を利用して、「お金」の大切さについての講演を行うと共に、銀行の仕事などの体験学習を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演：「大切なお金とお小遣いの話」 ・体験学習：「ビジネスマナー」 <ul style="list-style-type: none"> 「模擬紙幣による札勘練習」 「銀行窓口の機械操作体験」 「本店のロビーやATMコーナー見学」など <p>【取組みの効果】 札勘定やテラースマシンの体験により、楽しく銀行業務を学んでもらうことができた。</p> <p>平成19年から開催し、今回で9回目となり、地元で恒例のイベントになっている。</p>

銀行名	四国銀行
タイトル	<四銀>夏休み子ども教室「科学教室」
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 小学生を対象に夏休みを利用して、「科学教室」を開催している。これは、小学生の頃から理科や科学の楽しさに触れ、興味を持ってもらう事で、高知県の「ものづくり」を担う人材の育成を図るために実施しているもの。</p> <p>【取組み内容】 27年度は「自在に動くロボットカーを作ろう」と題し、全員がオリジナルのロボットカーを作るセミナーを開催。</p> <p>（1）講師：えひめ科学ゆめ塾・研究所 塾長・所長 加藤隆弘 氏 （2）内容：「自在に動くロボットカーを作ろう！」</p> <p>【取組みの効果】 オリジナルロボットカーを作製することで、ものづくりの楽しさを体験してもらった。制作した作品が夏休みの宿題にも利用できることから、人気のイベントになっている。</p>

銀行名	四国銀行
タイトル	環境保全への取組み
取組み内容	<p>【動機（経緯）】 環境問題への取組みを重要な経営課題と位置付け、本店及び本店別館において、省エネ・省資源、森林保全活動や環境関連商品の開発など積極的に環境保全活動に取り組んでいる。</p> <p>【取組み内容】 <「協働の森事業」への参加> 高知県、高知市と「協働の森事業」パートナーズ協定を締結。高知市鏡柿ノ又の市有林を「未来を鏡に～四銀絆の森」と名付け、行員、家族が高知市の職員の方々が結成したNPO「こうち森林救援隊」と協働で間伐ボランティア活動を行っている。</p> <p><「四銀絆の森」交流会> 「四銀絆の森」に毎年小学生や保護者を招待し交流会を開催している。交流会では植樹、間伐見学、木工教室などを実施し、森林の大切さを学んでもらっている。</p> <p><里山保全活動> 森林保全活動の一環として、里山および周辺の整備や清掃をNPOと協働で行っている。</p> <p>【取組みの効果】 行政、NPO法人、ボランティア団体の活動と連携を図りながら、広がりのある森づくり活動を行っている。</p>

銀行名	福岡銀行
タイトル	「みんなに優しい」銀行を目指して～ユニバーサルマナー検定3級講座の受講開始
取組み内容	<p>ふくおかフィナンシャルグループ（福岡銀行、熊本銀行、親和銀行）では、「みんなに優しい」銀行を目指して、ユニバーサルデザインの視点で、すべての人に使いやすく、心地よさ・快適さを感じていただけるような店舗づくりやサービスの提供に取り組んでいます。</p> <p>ユニバーサルデザインでは、「ハード」「ソフト」「ヒューマン」のそれぞれの面からサービス向上に向けた取組みを行っています。</p> <p>昨年度は、平成28年4月1日から施行される「障害者差別解消法」を踏まえ、「ヒューマン」面の取組みを強化しました。障がい者や高齢のお客様などに対し、行員・スタッフがお客様に寄り添った応対力を高めていくため、27年7月から「ユニバーサルマナー検定3級」講座を導入しました。</p> <p>検定講座の内容は、障がい者や高齢者など、多様なサポートを必要とする方々に対して、様々な人々の目線で考え、行動することをマナーとして身につけることを目的としています。</p> <p>これまで障がい者が窓口に来店された際に、「何かをしてあげたい」と思っただけでも「何をどうすればよいかわからない」といった迷いで一歩が踏み出せなかった経験を持っていた行員も数多く、7月の講座開講時は申込者が殺到しました。以降28年3月まで、計8回の開催を行い、約600名の受講者＝資格取得者が誕生しました。加えて、本年の新入行員約380名も研修期間中に同講座を受講完了しています。</p>

銀行名	筑邦銀行
タイトル	「道の駅 うきは」への協力
取組み内容	<p>国交省より中山間地域の拠点となる重点道の駅に選定された「道の駅 うきは」（うきはの里株式会社、以下同社）が実施する以下の事業に協力した(H28.4.20～H28.6.30)。</p> <p>具体的には、株式会社 Alive Cast と共にスマートフォンを活用した買い物支援事業を提案し、実証試験の実施に伴い、Wi-Fi の環境整備やスマートフォンの活用等で協力している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域の高齢者の農業生産支援を目的に、生産者が地域のコミュニティセンターへ持ち込んだ農作物を同社が集荷し店頭で販売する事業 ・ スマートフォンを活用し高齢者が発注した日用品を、同社が地元スーパーに代行し、地域のコミュニティセンターへ配送する事業

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	地域の祭りへの参加
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中計施策「地域との共栄」の一環として、当行の地元で開催される福岡市民の祭り「博多どんたく港まつり（以下「博多どんたく」）」に参加し、地域の伝統文化の継承と地域振興を図る。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行は、「博多どんたく」のパレードに役員、新入行員を中心にパレード隊を編成し、参加した。 ・ 博多駅前の本店前に演舞台を設置し、当行の役職員、お取引先、市民の皆さまによるさまざまな演技を披露した。 <p>【取組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 28 年は「つなげよう、一人ひとりの心の“輪”」をテーマに参加し、当行と地元のお客さまが輪になって地元を盛り上げる契機とすることができた。 ・ また、「博多どんたく」への参加を通じて、当行の元気を発信することで、熊本・大分で発生した地震により被災された皆さまの復興に寄与することができた。 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	「ワンクmeets博多人形展」の開催
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中計施策「地域との共栄」の一環として、当行のキャラクター「ワンク」の誕生 10 周年を機に、当行の地元博多の伝統工芸である博多人形の新しい展開、発展に寄与することを目的とした、「ワンクmeets博多人形展」を開催した。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行キャラクター「ワンク」をモチーフとした素焼きの博多人形に、プロの人形師はもちろん、地域の小学生、当行行員が絵付けを行い、「ワンク」110 匹を一堂に集めた展示会を開催した。 ・ また、最新の映像技術で大きな博多人形「ワンク」に映像を投影するプロジェクションマッピングショーも開催した。 <p>【取組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この取組みを通じて、多くのお客さまに博多の文化を身近に感じていただくことができた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">    </div>

銀行名	西日本シティ銀行		
タイトル	「アジアゲートウェイとしてのFUKUOKA」の開催		
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生の実現への取組みの一環として、当行と公益財団法人九州経済調査協会との共催で、連続セミナー「アジアゲートウェイとしてのFUKUOKA」を開催した。 <p>【取組みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡のゲートウェイ機能（インフラ）の歴史や今後の福岡の経済やまちづくりの発展の方向性などをテーマとしたセミナーを平成27年3月から9月の間で、全7回開催した。 <p>【取組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全7回で651名の方に参加いただいた。 		
		開催時期	人 数 テーマ・講師
	1	平成27年 3月	36 名 「福岡の発展に寄与してきた福岡空港～福岡空港の歩み～」 馬場 耕一 氏（福岡空港ビルディング株式会社 代表取締役副社長）
	2	平成27年 4月	60 名 「グローバル時代に対応する福岡空港」 垣阪 紀之 氏（国土交通省大阪航空局福岡空港事務所 空港長）
	3	平成27年 5月	52 名 「アジアとの交流を支えてきた博多港」 大東 光一 氏（博多港ふ頭株式会社 代表取締役社長）
	4	平成27年 6月	54 名 「日本の対アジア拠点港を目指す博多港」 石原 洋 氏（福岡市港湾局 理事）
	5	平成27年 7月	58 名 「九州・アジアの玄関口である博多駅とその周辺のまちづくり」 山根 久資 氏（九州旅客鉄道株式会社 博多駅 駅長） 原楨 義之 氏（九州旅客鉄道株式会社 事業開発本部博多まちづくり推進室 室長）
	6	平成27年 8月	70 名 「アジアのビジネス拠点を目指す天神」 高崎 繁行 氏（西日本鉄道株式会社 取締役専務執行役員）
7	平成27年 9月	321 名 <p>【基調講演】アジアゲートウェイとしてのFUKUOKA 坂井 猛 氏（国立大学法人九州大学工学部建築学科 教授）</p> <p>【パネルディスカッション】アジアゲートウェイとしてのFUKUOKA</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター 坂井 猛 氏 ・パネリスト 鈴木 弘之 氏（国土交通省九州地方整備局 局長） 麻生 泰 氏（福岡地域戦略推進協議会 会長） 久保田 勇夫（西日本シティ銀行 取締役会長） 	

銀行名	北九州銀行																						
タイトル	北九州市プレミアム付商品券発行運営業務の一括受託を通じた地域経済貢献について																						
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北九州市は、平成 27 年 5 月、地域経済の活性化を目的としたプレミアム付商品券事業の受託者を一般公募した。 当行は、北九州市に本店を置く唯一の地方銀行として、地方創生の取組み並びに地域経済への貢献を目的として応募し、選定された。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年 6 月から平成 28 年 3 月まで、北九州市民及び市内事業者にとって利便性の高い事業となるように、商品券の印刷、募集、販売、換金、広報の企画から運営まで、プレミアム商品券にかかるすべての業務を行った。 従来の地域金融機関のプレミアム商品券付事業への関与は、商品券換金業務が主体であったが、当行のように運営業務を一括受託するケースは全国的にも珍しい。 当行が取組んだ特徴的な取組内容は下記のとおり。 地元企業と連携した事業運営 当行をはじめ北九州市に本社を置く地元企業と連携して、商品券の発行、販売等の業務を行い、事業の地産地消を目指した。 資金繰り支援融資の取扱い 売上代金として商品券利用者から受け取った商品券が換金されるまでの期間について、立替資金を用意する融資制度を準備した。 <p>事業概要</p> <table border="1" data-bbox="480 1332 1444 1939"> <tr> <td>名 称</td> <td>元気発進！北九州プレミアム商品券</td> </tr> <tr> <td>発行総額</td> <td>27 億 6 千万円</td> </tr> <tr> <td>発行冊数</td> <td>230,000 冊（発行枚数 276 万枚）</td> </tr> <tr> <td>申込冊数</td> <td>367,782 冊（当選倍率 1.60 倍）</td> </tr> <tr> <td>1 冊当たりの発行額</td> <td>12,000 円（プレミアム率 20%）</td> </tr> <tr> <td>1 冊当たりの販売額</td> <td>10,000 円</td> </tr> <tr> <td>利用期間</td> <td>平成 27 年 9 月 1 日(火)~12 月 31 日(木)</td> </tr> <tr> <td>購入対象者</td> <td>市内の居住者に限る</td> </tr> <tr> <td>購入限度</td> <td>1 人 5 冊まで</td> </tr> <tr> <td>販売方法</td> <td>予約により購入者を決定し(応募者多数の場合は抽選)、商品券引換所にて販売</td> </tr> <tr> <td>商品券が利用できる店舗</td> <td>登録店舗約 5,300 店</td> </tr> </table>	名 称	元気発進！北九州プレミアム商品券	発行総額	27 億 6 千万円	発行冊数	230,000 冊（発行枚数 276 万枚）	申込冊数	367,782 冊（当選倍率 1.60 倍）	1 冊当たりの発行額	12,000 円（プレミアム率 20%）	1 冊当たりの販売額	10,000 円	利用期間	平成 27 年 9 月 1 日(火)~12 月 31 日(木)	購入対象者	市内の居住者に限る	購入限度	1 人 5 冊まで	販売方法	予約により購入者を決定し(応募者多数の場合は抽選)、商品券引換所にて販売	商品券が利用できる店舗	登録店舗約 5,300 店
名 称	元気発進！北九州プレミアム商品券																						
発行総額	27 億 6 千万円																						
発行冊数	230,000 冊（発行枚数 276 万枚）																						
申込冊数	367,782 冊（当選倍率 1.60 倍）																						
1 冊当たりの発行額	12,000 円（プレミアム率 20%）																						
1 冊当たりの販売額	10,000 円																						
利用期間	平成 27 年 9 月 1 日(火)~12 月 31 日(木)																						
購入対象者	市内の居住者に限る																						
購入限度	1 人 5 冊まで																						
販売方法	予約により購入者を決定し(応募者多数の場合は抽選)、商品券引換所にて販売																						
商品券が利用できる店舗	登録店舗約 5,300 店																						

【取組みの効果】

当行

- ・ 地元金融機関としての知名度向上
- ・ 商品券が利用できる店舗（事業者）の預金口座獲得、メイン化地域
- ・ アンケート結果より、商品券が利用できる店舗で「何らかの効果（売上増加、来店客増加等）があった」と答えた割合は73.2%
- ・ 新規に誘発した消費喚起効果：約20億5百万円
- ・ 市内経済全体への経済波及効果：約57億33百万円

以上

143/158

銀行名	北九州銀行
タイトル	社会貢献への取組み
取組み内容	<p>1．ギラヴァンツ北九州オフィシャルスポンサー ギラヴァンツ北九州(サッカーJ2リーグ)の2015シーズンオフィシャルスポンサーとして、地域の活性化を支援した(2016シーズンもスポンサーを継続)。 また、J2リーグ公式戦を「北九州銀行マッチデー」と題して当行冠協賛試合を開催、チーム強化費の寄付を行うとともに、北九州市教育委員会を通じて地元北九州市内の小中学生80名を招待した。 この他、期間限定でギラヴァンツV預金を取扱するとともに、売上金の一部がギラヴァンツ北九州の支援金となる飲料自動販売機(通称:ギラベンダー)を北九州エリア各本支店13店舗に設置している。</p> <p>2．北九州銀行杯小中学生イングリッシュコンテストの開催 北九州から国際社会で活躍する人材の育成を積極的に支援することを主旨として開催し、北九州市のほか福岡市や熊本市などから約200名超の小中学生が参加した。</p> <p>3．ひまわりBIGリコンテストの実施 ひまわり(北九州市の市花)の育成を通じて緑の普及・啓発を図り、郷土愛を育むことを主旨として、北九州市と協力して開催した。当行においては、熱心な取組みが見られた学校に、特別賞として2校にテントを贈呈した。</p> <p>4．北九州銀行レトロラインの運行 北九州市門司区の門司港レトロ観光列車・潮風号を北九州銀行レトロラインとして運行し、地域の観光振興を支援している。 また、山口フィナンシャルグループ各行のお客さまを対象に、1日フリー乗車券を優遇価格で提供している。</p> <p>5．小さな親切運動北九州市本部加入 心のかようあたたかな社会作りを目指し、青少年の心の育成事業などを展開する「小さな親切運動」北九州市本部に加入している。 当行では、北九州市内各所で行われる「日本列島クリーン大作戦」に毎年継続して約280名が参加しており、清掃活動による街並みの美化に取り組んでいる。</p> <p>6．北九州ゆめみらいワークの協力 高校生や大学生らに地元企業の魅力を知ってもらうことを目的として、北九州市が地方創生事業の一環として開催した体験型就職イベントに、当行も協力しイベントブースを出展。当行においては、会社概要、銀行業務の説明のほか、札勘教室や1億円の重さを体験できるイベントを実施。当日は6,000名を超える来場者となった。</p> <p>7．北九州マラソン協力 北九州市の一大イベントである「北九州マラソン」に、約100名の行員がボランティアスタッフとして参加。</p> <p>8．環境問題への取組の推進 節電・CO²削減の取組として、クールビズ・ウォームビズ、毎月1回の一斉消灯日・ノーマイカーデーなどを継続実施。</p> <p>9．積極的な情報発信 当行のCSR活動について、ニュースリリース、ディスクロージャー誌やホームページへの掲載、市の広報誌に掲載されるなど、積極的な情報発信に努めた。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	佐賀銀行	
タイトル	社会貢献への取組み	
取組み内容	【取組内容】	
	1．文化支援活動	
	文化財団新人賞の贈呈	文化・芸術に関する人材育成の一環として、佐賀県在住もしくは佐賀県出身の将来性豊かな若い芸術・創作活動家に賞および副賞を贈その活動を支援しています。この賞が若い芸術家の方々にとって大きな励みとなり、その活動が活性化されることで、ますます地域文化が発展していくことを願っています。
	ニューイヤークンサート	九州交響楽団の華麗なオーケストラの調べで新しい年を迎えていただくこと、平成4年1月より毎年開催しているコンサートです。多くの皆さまにご来場いただいております。
	ウェンズデイコンサート	音楽を気軽に楽しんでいただくために、平成4年6月から毎月第2・3水曜日の正午に本店ロビーを利用したミニコンサートを開催しています。
	2．環境問題への取組推進活動	
	森林保護活動 ・エコ定期預金の販売	本定期預金は、お客さまからお預け入れいただいた定期預金総額の0.025%相当額を当行が負担し、森林保護活動に資する基金等へ寄与するものです。平成27年度は、「公益財団法人さが緑の基金」に120万円、「公益財団法人福岡県水源の森基金」に177万円、「公益社団法人長崎県緑化推進協会」に15万円の寄付をしました。
	河川清掃活動 ・クリーン河童作戦	平成9年8月より毎年河川清掃を実施しています。「クリーン河童作戦」と名づけて、約100名が参加し、きれいな川のある環境を作っていきたいと取り組んでいます。
3．金融経済教育の取組活動		
「エコノミクス甲子園」佐賀大会の開催	平成27年12月に「エコノミクス甲子園」佐賀大会を開催しました。本大会は高校生の金融および経済に関する知力の普及を目的としたもので、楽しみながら金融経済を学んでもらうクイズ形式の大会です。	

銀行名	十八銀行
タイトル	「長崎が目指す2つの世界遺産」構成資産の清掃活動実施
取組み内容	<p>当行は「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」と「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向けた応援活動を積極的に行っております。</p> <p>その応援活動の一環として、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産である「旧グラバー住宅」および「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産である「大浦天主堂」の周辺でのボランティア清掃活動を実施いたしました。</p> <p>実施時期：平成 28 年 4 月 参加者：新入行員 参加者数：79 名</p> 

銀行名	十八銀行
タイトル	長崎ランタンフェスティバル「皇帝パレード」への参加
取組み内容	<p>『2016 長崎ランタンフェスティバル』の最大の見どころである皇帝パレードに当行より総勢 45 名が参加しました。</p> <p>長崎新地中華街の人たちが中国の旧正月(春節)を祝う行事を起源とするランタンフェスティバルは、いまでは長崎の冬の一イベントとして多くの観光客が訪れています。約 15,000 個のランタン(中国提灯)やオブジェが長崎の街を彩ります。</p> 

銀行名	親和銀行
タイトル	「みんなに優しい」銀行を目指して～ユニバーサルマナー検定3級講座の受講開始
取り組み内容	<p>ふくおかフィナンシャルグループ（福岡銀行、熊本銀行、親和銀行）では、「みんなに優しい」銀行を目指して、ユニバーサルデザインの視点で、すべての人に使いやすく、心地よさ・快適さを感じていただけるような店舗づくりやサービスの提供に取り組んでいます。</p> <p>ユニバーサルデザインでは、「ハード」「ソフト」「ヒューマン」のそれぞれの面からサービス向上に向けた取り組みを行っています。</p> <p>昨年度は、平成28年4月1日から施行される「障害者差別解消法」を踏まえ、「ヒューマン」面の取り組みを強化しました。障がい者や高齢のお客様などに対し、行員・スタッフがお客様に寄り添った応対力を高めていくため、27年7月から「ユニバーサルマナー検定3級」講座を導入しました。</p> <p>検定講座の内容は、障がい者や高齢者など、多様なサポートを必要とする方々に対して、様々な人々の目線で考え、行動することをマナーとして身につけることを目的としています。</p> <p>これまで障がい者が窓口に来店された際に、「何かをしてあげたい」と思っただけでも「何をどうすればよいかわからない」といった迷いで一歩が踏み出せなかった経験を持っていた行員も数多く、講座開講時は申込者が殺到しました。以降28年3月まで、計8回の開催を行い、約600名の受講者＝資格取得者が誕生しました。加えて、本年の新入行員約380名も研修期間中に同講座を受講完了しています。</p> <p>人数はグループ3行合計</p>

銀行名	肥後銀行
タイトル	「学び舎応援私募債」による私募債発行企業と連携した教育支援（地域貢献）
取組み内容	<p>【背景・経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や文科省の中央教育審議会では、地方創生・地域活性化の核となる教育や子育て支援に関して学校と地域が一体となった取組が求められている。 ・また、お取引先経営者の地域貢献意識は高く、企業として何らかの形で地域に貢献したいというニーズが多い。 ・こうした状況を踏まえ、お客様の地域貢献ニーズの実現と「教育環境整備」を通じた子供たちの成長支援に資するため、平成 28 年 1 月より「学び舎(まなびや)応援私募債」の取扱を開始したものの。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引先⁽¹⁾の私募債発行を記念して、私募債発行額の 0.2%相当額の物品を私募債発行企業が指定する学校⁽²⁾へ当行が寄贈するもの。 <p>1:財務要件等の適債基準を満たす企業が対象 2:平成 28 年 5 月より寄贈対象の学校を熊本県外の学校にも拡大</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物品の寄贈に際しては、学校で発行企業とともに贈呈式を開催し、学校と地域の連携や関係強化を図っている。 ・寄贈学校数：22校 ・寄 贈 額：3,532千円 ・主な寄贈品：プロジェクター、テレビ、サッカーボール、図書等 平成 28 年 1 月 12 日～平成 28 年 3 月末までの実績 <p><贈呈式の模様></p> 

銀行名	肥後銀行
タイトル	環境問題への取組み
取組み内容	<p>A.「環境保全活動の実施」</p> <p>a. 植樹・下草刈りボランティア</p> <p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年2月 創立80周年記念として阿蘇市小倉地区の森林52haを取得。「阿蘇大観の森」と命名。当行頭取が理事長を務める公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金と協働で、同地で例年植樹・下草刈り等、水源涵養林の保全・育成に積極的に取り組んでいる。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行員ボランティア 植樹(例年4月) 下草刈り(例年7月) ・植樹面積累計51.6ha ・植樹本数累計123,300本 ・ボランティア参加人数累計10,827人 <p>b. 田植え・稲刈りボランティア</p> <p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年2月 地下水保全及び耕作放棄地解消を目的に、当行頭取が理事長を務める公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金が、阿蘇市山田の耕作放棄地3.5haを借地し、棚田を再生(「阿蘇水掛の棚田」と命名)。阿蘇市との間で「農業・水田湛水事業に関する協定」を締結し、田植え・稲刈りを通じた水田湛水事業に取り組んでいる。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行員ボランティア 田植(例年5月) 稲刈(例年10月) ・田植え・稲刈り面積約1.5ha ・ボランティア参加人数累計 6,340人 <p>c. 草原支援</p> <p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水保全活動の一環として、阿蘇の草原保全・再生に向けた活動を実施。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年、阿蘇草原再生協議会に寄付実施。 ・同年、阿蘇の草原再生への取組みの一環として、「あか牛」の飼育頭数増加のため、当行役職員有志が「あか牛オーナー制度」に参加。 ・平成26年から運用収益の一部を阿蘇世界農業遺産基金に寄付する「阿蘇グリーン定期預金」を取扱開始。平成27年度の寄付額724万円。 ・平成27年度から野焼ボランティアへ参画。事前研修会参加者約70名。

B.「環境保全啓発活動」



a.「わたしのまちの と×・熊本」環境フォトコンテストの実施

【経緯】

- ・平成19年度より、環境啓発活動として官民学一体となって実行委員会を組織し開催。

【取組内容】

- ・平成27年度は第9回を実施。応募総数2,527点。過去最多応募数。

銀行名	肥後銀行
タイトル	社会貢献活動への取り組み
取組み内容	<p>文化・芸術事業支援</p> <p>【動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本の歴史・文化を守り、次世代に継承するため <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年 5 月、文化情報発信の拠点として「肥後の里山ギャラリー」を開館。1 年間で 6 回の展覧会開催。年間来館者数 24,040 人。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ・美術展への協賛（毎年） 平成 27 年度は、創立 90 周年記念事業として熊本県立美術館開催「印象派のふるさとノルマンディー展」に特別協賛。総来場者数約 2 万人。 <p>スポーツ振興</p> <p>【動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内のスポーツ振興に貢献するため。 <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 23 年、女子駅伝部創部 ・各種スポーツイベントへの協賛（毎年）（「都市対抗熊日駅伝」特別協賛、「熊本城マラソン」事業協賛） <p>地域行事への参加</p> <p>【動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントの活性化に貢献するため <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本城マラソン清掃ボランティア約 400 名参加（毎年） ・「火の国まつり」約 100 名参加（毎年） <p>福祉活動</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人 熊本県視覚障がい者福祉協会へ点字カレンダー 500 部贈呈。（毎年） ・平成 28 年 4 月より卓上型対話支援機器「コミュニケーション」を全営業店へ設置。

銀行名	大分銀行
タイトル	金融教育への取組み：「親子で金融経済を学べるセミナー」
取組み内容	<p>【経緯】</p> <p>(1) 投資信託取引先である三井住友アセットマネジメントより本企画の紹介があり、<u>地域密着化における金融リテラシー活動の一環</u>として、金融ゲーム、セミナーを通じて親子で投資教育を行なうことを目的として企画した。</p> <p>(2) 金融ゲームは、本イベントに先行して、平成 27 年 11 月 18 日(水)に、行員研修「生命保険販売前研修」にて平成 27 年度新入行員向けに実施し、好評を得ていた。また、協賛の三井住友アセットマネジメントは、お客さま向けに全国で 3 回の開催実績と今後の開催予定があった。</p> <p>(3) <u>投資信託を保有するお客さま・未保有のお客さま</u>へ、平成 28 年 1 月より口座開設受付を開始した「<u>ジュニアNISA</u>」<u>制度の情報提供および利用促進(購入開始平成 28 年 4 月以降)</u>を目的に、セミナー聴講の機会を提供するためにも本セミナーを企画した。</p> <p>【内容】</p> <p>(1) 開催日時 : <u>平成 28 年 3 月 13 日(日) 13:00~16:00</u> (金融ゲーム・セミナー同時進行)</p> <p>(2) 名称 : 『大分銀行・ジュニアNISA×エコノミカゲーム大会 ~ご家族で楽しむ金融ゲーム~』</p> <p>(3) 会場 : 大分銀行宗麟館 5 階会議室(セミナー会場は 4 階会議室)</p> <p>(4) 参加人数 : 20 組(大人 21 名・子供 20 名[10 才~14 才])</p> <p>(5) 協賛 : 三井住友アセットマネジメント株式会社(以下、三井住友AM) セミナー講師同上</p> <p>【効果】</p> <p>(1) 当日のお客さまのアンケート結果は、総じて好評であり、本大会の主目的である、若年層・資産形成層世代の取込みによる投信残高裾野拡大および地域密着化における“金融リテラシー”の普及を実現できたと思料する。</p> <p>(2) 本セミナーの感想《ご参考》 (アンケート回収：大人 20 名 子供 20 名 複数回答・未回答含む)</p> <p>【大人アンケート】</p> <p>「エコノミカ『家族で楽しむ金融ゲーム』」 楽しかった:18 名 楽しくなかった:2 名</p> <p>「ジュニアNISA セミナー」 参考になった：17 名 参考にならなかった：1 名</p> <p>【子供アンケート】</p> <p>「カードゲーム(エコノミカ)はどうでしたか？」 とてもおもしろかった：8 名 おもしろかった：5 名 ふつうだった：5 名 むずかしかった：3 名 つまらなかった：0 名</p> <p>(3) 本イベントは初めての試みであり、本大会の実績(参加状況、費用、開催後の効果)等を検証のうえ、次回開催を検討する予定。 以上</p>

未来は、金融知識を身につけて切り拓く!

3/13(日)
13:00~16:00

大分銀行
宗麟館

無料
事前予約制

30組
限定

ジュニアNISA × エコノミカ

ご家族で楽しむ金融ゲーム

親子で金融経済を学べるセミナーを開催いたします。
経済カードゲームで遊びながら学ぶセミナーに参加してみませんか。

親御さまに

ジュニアNISAを学ぶ

2016年よりスタートした
ジュニアNISAを
分かりやすく解説します。

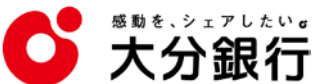
親子で

エコノミカで楽しむ
(経済カードゲーム)

金融カードゲームを通じて、
楽しく遊びながら
金融・経済用語を
身に付けられます。

© A.P.F.L. Japan All Rights Reserved

主催



大分銀行

株式会社大分銀行
登録金融機関 九州財務局長(登金)第1号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人全国銀行協会

協賛



三井住友アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

エコミカって?

遊びながら金融・経済が学べるカードゲームです。バトルに使うカードの特性を通して理解を深めます。

エコミカの遊び方

- 対戦型のカードゲームで、1回20～30分程度でプレイできます。(目安として10歳以上を対象としています。)
- 「イベント」、「アセット」、「リスクヘッジ」の3種類のカードで構成されています。
- 「イベント」カードで自分の「アセット」カードの価値を上げたり、下げたりして遊びます。また、「リスクヘッジ」カードでイベントの効果を失くすこともできます。

【カードの例】

アセットカード



イベントカード



リスクヘッジカード

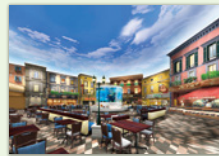


エコミカゲーム大会景品 ※2

ゲーム優勝者 (1名さま)



または



杉乃井ホテルレストラン
「ワールドダイニング
『シーダパレス』」お食事券※1

2位 (1名さま)



「水族館『うみたまご』」
年間パスポート※1

3位 (1名さま)



図書GIFTカード
5,000円分

事前予約の方には
エコミカを
プレゼント



エコミカについて
詳しくはこちら

当日使用するものは
当日でご用意いたします。

※1 ご家族分となります。(ただし上限があります) ※2 当日は目録をお渡しし、後日商品を郵送いたします。

大分会場

先着
30組
限定

申込
無料

開催日時 3月13日(日) 13:00～16:00

場所 **大分銀行宗麟館5階会議室** (セミナー会場は4階会議室)
大分市東大道1-9-1
<http://www.oitabank.co.jp>



お申し込み方法

参加を希望されるお客さまは、下記フリーダイヤルへお電話にてお申し込みをお願いいたします。

大分銀行ダイレクトセンター  **0120-849-070** 受付時間 平日 / 9:00～20:00(祝日は除く)
土曜・日曜日 / 9:00～17:00

本セミナー開催後、資産運用に関するご提案を行うことがあります。弊行では、お客さまからお申出いただいている投資方針に適した商品を販売することを勧誘方針としていますが、今回のご案内において、現在のお客さまの投資方針に必ずしも適さない場合もあるかと存じます。その場合、商品もしくは取引のリスクをご理解いただいたうえで、また投資方針についてもご理解いただいた場合に限りお申込を受付いたします。投資方針のご変更を希望される場合におきましても、お客さまのご投資経験など諸般の事情によりお申出いただけない場合もございますのであらかじめご了承ください。

銀行名	大分銀行
タイトル	高齢化問題への取組み：「大分オレンジカンパニー」登録
取組み内容	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年厚生労働省が関係省庁と協働して「新オレンジプラン：認知症施策推進総合戦略」を公表したことを受けて、大分県では平成 27 年度より「<u>大分県認知症施策プロデュース委員会</u>」を設置した。当該委員会への参加要請を受け、当行からも委員を派遣した。 ・大分県では「認知症に関する知識の普及・啓発」について「認知症サポーター養成講座」(以下「養成講座」とする)を推進し、要件を満たした事業所を「<u>大分オレンジカンパニー</u>」として登録することを奨励していた。 ・弊行では、平成 25 年度より「新入行員研修」カリキュラムに「養成講座」を導入していたが、現状では「オレンジカンパニー」の登録要件を満たしていなかったために、既存の役職員に対し「養成講座」の受講を奨励することとした。 <p>【内容・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大分オレンジカンパニー」とは、企業・職域組織単位でその半数以上が「養成講座」を受講した事業所を大分県福祉保健部高齢者福祉課が認定するもの。その役割は、社内の認知症サポーターの計画的な養成及び継続的なフォローアップを実施することと認知症への理解を深める取組みを率先することとされている。 ・平成 27 年 11 月より各地域の包括支援センターから各店舗に講師を派遣いただき、県外も含め全店舗の行員を対象とした「養成講座」を実施した。 ・平成 28 年 2 月に「養成講座」受講済者名簿(1,275 名)を大分県に提出し、<u>登録申請を行い、3 月に「認知症サポーター」が在籍する 101 カ店が「大分オレンジカンパニー」として大分県のホームページに公表された。</u> ・平成 28 年度には、大分県と共催で一般の県民を対象とした「養成講座」を実施することも計画しており、行内外の「認知症」に対する理解の促進に寄与するとともに、「認知症にやさしい企業・団体」としての当行のイメージアップにも効果があったと判断している。 <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	鹿児島銀行
タイトル	環境問題（森林整備）への取組み
取組み内容	<p>1. 背景</p> <p>地球温暖化による気候変動が農業・観光業を主要産業とする鹿児島、宮崎に与える経済的損失は計り知れないものがあることから、環境保全に向けた基本理念、基本方針を定めた「鹿児島銀行環境方針」に基づき例年、環境保護活動を実施している。</p> <p>2. 取組み内容</p> <p>鹿児島県との「かごしま環境パートナーズ協定」に基づき、平成 20 年度から継続して、鹿児島市内の県有林の間伐を実施している。</p> <p>3. 取組み成果</p> <p>間伐で整備した森林について、「かごしま CO2 吸収量等認証制度」により、森林整備による二酸化炭素吸収量の認証を受けている。</p> <p>【参考：過去の CO2 吸収量】</p> <p>132 t / 平成 24 年度</p> <p>106 t / 平成 25 年度</p> <p>121 t / 平成 26 年度</p> <p>116 t / 平成 27 年度</p>

銀行名	琉球銀行
タイトル	第13回 りゅうぎんキッズスクールの開催
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の小学生(5.6年生)に対して身近な環境を考えるきっかけを提供するサイエンス教室や、ゲームで楽しみながら、自然な形で世界経済や社会の仕組みを学ぶ体験参加型ビジネスシミュレーションゲームを通じ「お金」や「銀行」、「経済」について学ぶ機会を設けることにより金融知識の向上を図り、CSR活動の一環として地域社会に貢献することを目的として開催する。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイエンス教室 ホーバークラフト造りを通じて、風やゴムの働き、電気の利用方法など、ものづくりの楽しさを実感するカリキュラムで、子ども達が科学や環境に興味を持つきっかけ作りをする。 ・ 経済教室 「お金」や「銀行」、「経済」について学ぶ機会を設けることにより金融知識の向上や社会知識の習得を図る。 ・ 8月5日～7日の3日間で合計6コマの教室を開催し、総勢233名の児童が参加し楽しみながら学習を行った。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童及び父母からの感想 児童父母からの評価は良好で、サイエンス教室では、部品作りから制作するため、ものづくりの楽しさを学ばせることができたなど好評であった。経済教室は、特に父母から経済についてうまく説明できなかったが子供たちも本教室により経済を分かりやすく体験できた。また、子供たちが自分で考えて行動したことに感動したなどの意見や、今後も継続して開催してほしいといった声を多数頂いている。